

# 令和4年度 高校生建築 デザインコンクール

Architectural Design Contest 2022

課題：パークゴルフ場の休憩所



## はじめに

道では、将来の建築技術者となる若年層の育成などを図るため、建築を志す道内の建築系学科に在籍する高校生を対象に、夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成8年度から実施しており、今回で27回目となります。

今年度は、稚内市にある北海道立宗谷ふれあい公園内の『パークゴルフ場の休憩所』を設計課題として募集したところ、7校85人から76作品の応募がありました。

応募いただきました作品は、公園内で自然を感じながら体も心も癒される空間として工夫されており、高校生ならではの創造力豊かな作品が数多く寄せられました。

厳正な審査の結果、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

参加いただいた全ての皆様にとりまして、このたびの経験が、貴重な財産になることを期待しております。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただいた先生方をはじめ、共催いただいている（公社）日本建築家協会北海道支部、（一社）北海道建築士事務所協会、（一社）北海道建築士会の皆様には多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、応募いただいた皆様には、引き続き建築の勉強に励まれ、将来、建築技術者としてご活躍されることを心よりご期待申し上げます。

令和5年2月

北海道建設部建築企画監 細谷 俊人

## 審査講評

「高校生建築デザインコンクール」は、建築系学科を設置している道内の高校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物などのデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するとともに優れた作品を表彰するものです。

今年度は、「パークゴルフ場の休憩所」を設計課題として募集したところ、76作品の応募があり、多くの関係者の多大なご協力により、高校生建築デザインコンクールを盛況に開催することができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

応募作品は、立地条件や周辺状況の特性を活かしながら、宗谷岬や公園をイメージした象徴的なデザインや、ゼロカーボンに向けた機能を持たせた意欲的なプラン、バリアフリーへの配慮とデザインを上手に両立させたものなど、高校生らしい発想力や表現力豊かな作品が数多く見られました。

審査にあたっては、主に「高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか」「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」「立地条件を活かしているか」「ユニバーサルデザインや環境などに配慮されたデザインであるか」といった観点から、委員間で活発な議論のもと、厳正な審査の結果、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定しました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心を高め、建築技術を学ぶ皆様の学習意欲の高揚や将来の建築関連分野への進路選択にもつながることを期待しております。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからのご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。

令和4年度高校生建築デザインコンクール選定委員会  
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 芥川 昌久

## 令和4年度高校生建築デザインコンクール入選者一覧

### 最優秀作品賞(1作品)

安藤 将大 (北海道名寄産業高等学校 3年)

### 優秀作品賞(3作品)

成田 菜々 (北海道小樽未来創造高等学校 3年)

工藤 千朋 (北海道小樽未来創造高等学校 3年)

島 香奈美 (北海道苫小牧工業高等学校(全日制) 3年)

黒澤 友海 (北海道苫小牧工業高等学校(全日制) 3年)

### 佳作(4作品)

菊地 愛 (北海道函館工業高等学校 3年)

村上 琉聖 (北海道札幌工業高等学校 3年)

宮川 加鈴 (北海道函館工業高等学校 3年)

森谷 輯 (北海道苫小牧工業高等学校(全日制) 3年)

南沢 昂太 (北海道苫小牧工業高等学校(全日制) 3年)

### 特別賞(2作品)

高橋 鉄三 (北海道苫小牧工業高等学校(定時制) 4年)

対馬 直樹 (北海道苫小牧工業高等学校(定時制) 3年)

野呂 風花 (北海道函館工業高等学校 3年)

## 令和4年度高校生建築デザインコンクールの実施概要

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の建築系学科が設置されている高等学校に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

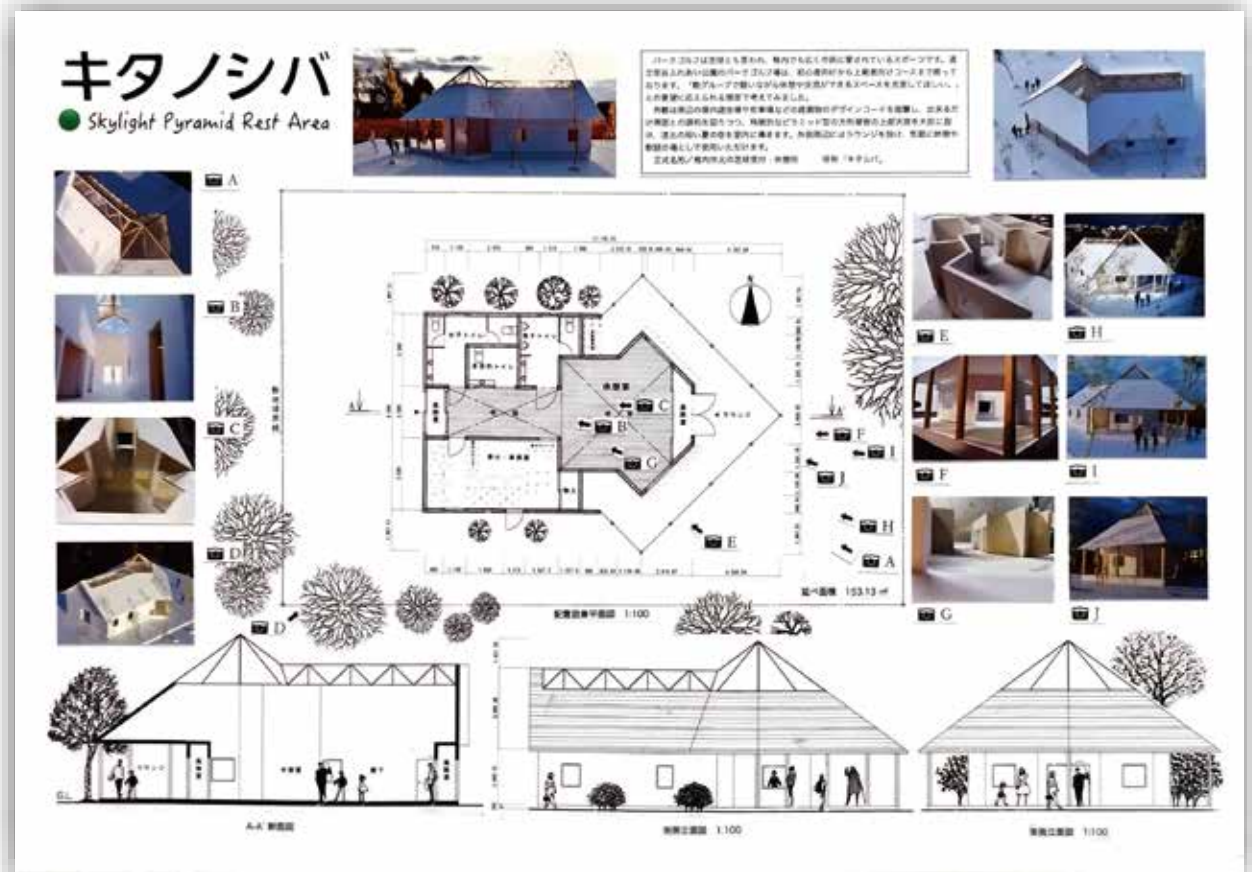
- 1 課 題 「パークゴルフ場の休憩所」  
北海道立宗谷ふれあい公園内に、主にパークゴルフ場を利用する方が使用する休憩所を設計し、提案してください。
- 2 応募資格 道内高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 J I S規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の全ての図面を描く
  - (1) 作品タイトル
  - (2) 設計主旨
  - (3) 配置図・平面図 1/100
  - (4) 断面図 1/100
  - (5) 立面図 1/100 (1面)
  - (6) スケッチ、模型写真又は透視図
  - (7) 面積表
- 4 応募作品 85名から76作品の応募
- 5 入選作品 最優秀作品賞1作品・優秀作品賞3作品・佳作4作品・特別賞2作品
- 6 経 過 募集要項配布 令和4年 7月 5日  
作品受付 令和4年11月30日まで  
選定委員会 令和4年12月15日  
作品展示 令和5年 1月 7日から 1月 8日まで
- 7 選定委員 芥川 昌久（北海道建設部建築局建築整備課長）※委員長  
赤坂 真一郎（公益社団法人日本建築家協会北海道支部 副支部長）  
松田 真人（一般社団法人北海道建築士事務所協会 副会長）  
松本 純（一般社団法人北海道建築士会 まちづくり委員会副委員長）  
山城 宏一（北海道教育庁学校教育局高校教育課長）



# 入賞作品

## 最優秀作品賞

北海道名寄産業高等学校  
安藤 将大(3年)



### 作品名「キタノシバ」

**設計主旨** パークゴルフは芝球とも言われ、稚内でも広く市民に愛されているスポーツです。道立宗谷ふれあい公園のパークゴルフ場は、初心者向けから上級者向けコースまで揃っております。「数グループで競いながら休憩や交流ができるスペースを充実してほしい。」との要望に応えられる想定で考えてみました。

外観は周辺の屋内競技場や炊事場などの建築物のデザインコードを踏襲し、出来るだけ周囲との調和を図りつつ、特徴的なピラミッド型の方形屋根の上部天窓を大胆に設け、道北の短い夏の空を室内に導きます。外側周辺にはラウンジを設け、気軽に休憩や歓談の場として使用いただけます。

**審査講評** 公園内のデザインコードに配慮された、特徴的な屋根形状のデザインや、両側玄関の利便性などのバランスのとれたプランが評価された。

また、若さと魅力を感じる高校生らしい発想や、実現できそうな形、良くまとまったプレゼンテーションなど、取組の熱心さが評価された。

## 優秀作品賞

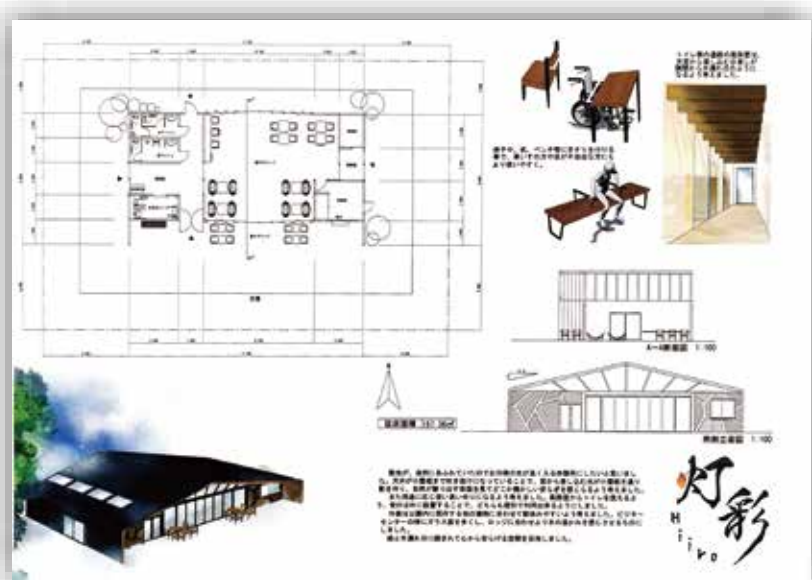


北海道小樽未来創造高等学校  
成田 菜々(3年)

### 作品名「澄清」

- ⑧ 設計主旨 天気の良い日には正面玄関前のラウンジにテーブルと椅子を出して休憩スペースを増やせるようにし、多くの人がこの休憩所を利用できるように計画しました。  
屋内ラウンジには大きな窓を設置しどの時間帯でも日の光が入るようにし、常に屋内が明るい空間になるようにしました。断熱性と調湿性に優れ、リラックス効果があるといわれている木材を外壁や建物内のフローリングや腰壁等を使用し、落ち着ける空間にしました。  
正面玄関前の建物に囲まれた空間には外壁から外壁をワイヤーで繋ぎ傘を吊るしてアンブレラスカイを行えるようにし、休憩所の利用者が色々な光の表情を楽しめるようにしました。
- ⑨ 審査講評 大きな屋根と広いラウンジの魅力的なデザインや、屋内から屋外への移り変わり、周辺環境に配慮されたプランなど、合理的で破綻がなく、バランス良くまとまった現実性の高い提案が評価された。

## 優秀作品賞



北海道小樽未来創造高等学校  
工藤 千朋(3年)

### 作品名「灯彩-Hiiro-」

- ⑧ 設計主旨 敷地が、自然にあふれていたのとお日様の光が良く入る休憩所にしたいと思いました。天井が小屋組まで吹き抜けになっていることで、窓から差し込む光が小屋組を通り影を作り、自然が創り出す床面を見てどこか懐かしい安らぎを感じられるよう考えました。また用途に応じ使い易い作りになるよう考えました。風除室からトイレを使えるよう、受付は外に設置することで、どちらも個別で利用出来るようにしました。  
外装は公園内に既存する他の建物に合わせて馴染みやすいよう考えました。ビジターセンターの様にガラス面を多くし、ロτζジに合わせより木の温かみを感じさせるものになりました。  
緑と木漏れ日に囲まれて心から安らげる空間を目指しました。
- ⑨ 審査講評 大きな屋根が象徴的なデザインや、トイレと休憩スペースを分離させた快適性の確保、ユニバーサルデザインに配慮したベンチと開放感のあるプランなど、無理がなくまとまった提案が評価された。

## 優秀作品賞



北海道苫小牧工業高等学校(全日制)  
島 香奈美(3年)  
黒澤 友海(3年)

### 作品名「Microcosm in souya」

- ⑤ **設計主旨** 宗谷岬にある「日本最北端の地の碑」、ふれあい公園内にあるビジターセンターの「ピラミッド」、そして星空がきれいな稚内の夜空に浮かぶ星座の「夏の三大角」から、デザインに三角形を取り入れました。  
夏の三大角(Vega・Altair・Deneb)には、織姫(Vega)、と彦星(Altair)、それを結ぶ(Deneb)で知られる「1年に1度会うことができる」物語があり、床に埋め込んだ3つのライトは、その星々を表しています。  
ここを訪れた人々が「また、来年も来ようね!」と約束できる場になればいいなと願いを込めました。

- ⑥ **審査講評** 宗谷岬の碑などをイメージした象徴的でユニークな三角形の屋根と箱体の美しいデザインが評価された。

## 佳作



北海道函館工業高等学校  
菊地 愛(3年)

### 作品名「ひかり」

- ⑤ **設計主旨** 自然に囲まれた広い土地。ここに私は「ひかり」を象徴とするゴルフパークの休憩所を設計しました。外観の特徴である差し掛け屋根は断熱性・通気性に優れており、夏は涼しく、冬は暖かいのが特徴です。  
屋根に広い範囲で設置した天窓からは、心地よい自然の光が差し込み室内を明るく照らします。その差し込んだ光が作り出す空間は差し掛け屋根の良さを最大限に引き出すほどに開放的なものであり、圧迫感を感じることなく、快適性のある空間になっています。壁部分にはガラス張りを多く施しており、屋内ラウンジと屋外ラウンジを仕切る壁は全面がガラス張りであるため、広場の様子を室内からも楽しむことが出来ます。  
自然と人々が集う太陽の光を取り入れた豊かで賑わいのある空間になることを願っています。
- ⑥ **審査講評** 天窓から屋内ラウンジへの採光や、屋内と屋外の結びつきに配慮した快適な空間デザイン、堅実でまとまったプランが評価された。

## 佳作



北海道札幌工業高等学校  
村上 琉聖(3年)

### 作品名「しぜんとやすむ」

⑤ **設計主旨** 自然を感じられるように設計しました。疲れた体に風が当たりリフレッシュ出来るよう、屋内ラウンジに窓を多く設けました。また、椅子に座った時に外の景色を十分に楽しめるよう、窓を低い位置に設置しました。屋内ラウンジと屋外ラウンジは直接出入りが出来る為、動線を短縮できます。より風を感じられるよう、屋外ラウンジの一部に取り外しが可能な布を張っています。屋外ラウンジの軒に乳白色のガラスを使用している為、屋内ラウンジも一定の採光を確保できます。バリアフリーの面では、身体障害者の方も利用しやすいように、スロープを設けたり、廊下の幅を広くとるなどの配慮もしました。

⑥ **審査講評** 特徴的なN型平面や、機能的な配置計画、単純でありながらうまく外部を取り込んでいる空間など、自然かつ効果的な空間デザインで、創造性のある提案が評価された。

## 佳作



北海道函館工業高等学校  
宮川 加鈴(3年)

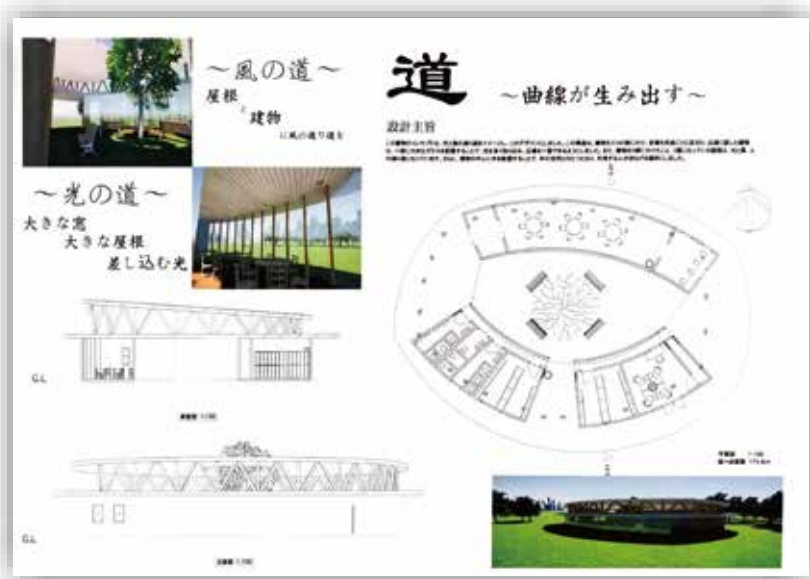
### 作品名「ほくたん」

⑤ **設計主旨** パークゴルフで疲れたときや、待ち合わせをしているとき、ゆっくりと休むことができる明るい空間を目指し設計しました。稚内市宗谷岬に立つ碑をモチーフとした屋根はトップライトを設けており、そこから差し込む光が屋内ラウンジを明るく包み込み、心休まる心地よい空間が生まれるようにしました。屋内ラウンジでも屋外ラウンジのように、広場等の景色が眺められ自然を感じられるように大きな窓を設け、開放的な空間にしました。屋内ラウンジの天井は小屋組が見えており、木の優しい温もりや、柔らかな雰囲気が伝わるようにしました。多くの方々を利用し、歓談を楽しめることを願います。

⑥ **審査講評** 宗谷岬の碑をモチーフとした象徴的な屋根や、内外の一体的利用が可能な軒下空間、敷地の形状を生かした配置計画が評価された。



## 佳作



北海道苫小牧工業高等学校(全日制)  
森谷 輯(3年)  
南沢 昂太(3年)

### 作品名「道」

⑧ 設計主旨 この建物のコンセプトは、光と風の通り道をイメージし、このデザインにしました。この構造は、建物を3つの棟に分け、各棟を用途ごとに区切り、広場に面した建物は、一面に大きなガラスを配置することで、光を多く取り込み、広場を一望できるようにしました。また、建物を3棟に分けたこと、2重になっている屋根は、光と風、人の通り道になっています。さらに、建物の中心に木を配置することで、外の自然とひとつとなり、利用する人が安らげる場所にしました。

⑨ 審査講評 3棟の建物や広場の設置、光と風の通り道など、開放感ある大胆でユニークなプラン、美しく魅力的なデザインが評価された。

## 特別賞



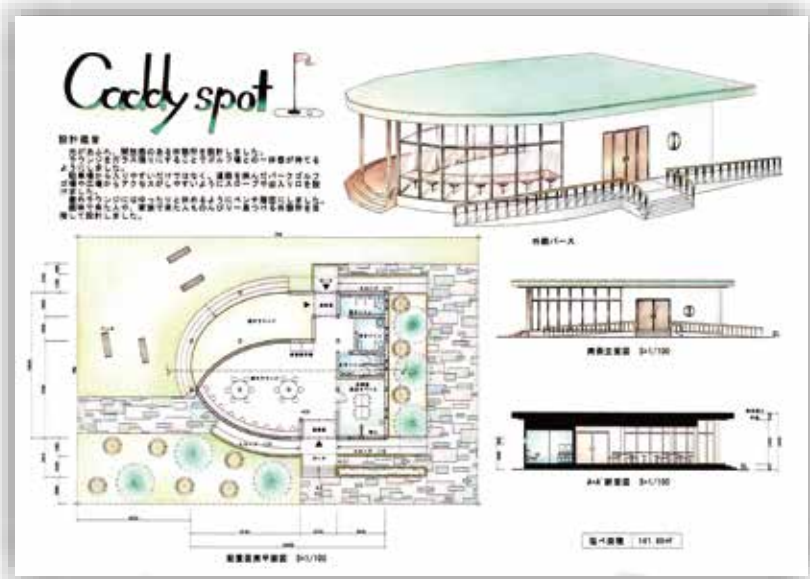
北海道苫小牧工業高等学校(定時制)  
高橋 鉄三(4年)  
対馬 直樹(3年)

### 作品名「くつろぎのラウンジ」

⑧ 設計主旨 この「パークゴルフ場の休憩所」は、北海道立宗谷ふれあい公園のゲートを通って最初に目にする建築物である。今年の課題を貰い、恒例にしている剣淵町でのお墓参りを済ませた後、初めて最北の地を目指す。幌延町を過ぎるころ左前方の雲の中に三角形の利尻富士が顔を出して出迎えてくれた。最北端の宗谷岬と最北の稚内駅を見てから「ふれあい公園」に入る。広々とした公園の中を散策して歩いてみた。「ふれあい公園」は、広大で多目的に利用されている。その中のシンボルに加わることを想定して計画した。ふれあい公園を利用する多くの人の文字通り「ふれあいの場」になることも想定して計画した。稚内の親しまれているシンボルと広大な「ふれあい公園」の施設に変化を加えて新たにアピールするシンボルを計画した。休憩所を覆う屋根は、北斗七星をモチーフにした七面、頂点から底面に伸びる辺に七色に移り変わるパーライトを設けた。見晴らしのよい休憩所でひと息入れ、プレーへの活力をチャージしてベストスコアを目指す場とした。東側から西側の屋根面にソーラーパネルを設置して休憩所の消費電力の削減を図るように計画した。

⑨ 審査講評 稚内らしい三角屋根や、ゼロカーボンに向けたソーラーパネルなどの機能性が評価された。

# 特別賞



北海道函館工業高等学校  
野呂 風花(3年)

## 作品名「Caddy spot」

**設計主旨** 光があふれ、開放感のある休憩所を設計しました。  
ラウンジをガラス張りにすることでゴルフ場との一体感が持てるようにしました。  
駐車場から入りやすいだけでなく、道路を挟んだパークゴルフ場や広場からアクセスがしやすいようにスロープや出入口を設けました。  
屋外ラウンジにはゆったりと休めるようにベンチ階段にしました。  
趣味で来た人や、家族で来た人ものんびり一息つける休憩所を目指して設計しました。

**審査講評** 開放感のあるガラス張りのデザインや、トイレと屋内ラウンジを分離した快適なプラン、複数方向からアクセスできる屋根付きスロープ、屋内と屋外が共存したプランが評価された。

## 令和4年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

### —北海道札幌工業高等学校—

- 青山 将大 [3年]
- 内海 穂南 [3年]
- 大西 空叶 [3年]
- 佐々木 進一 [3年]
- 田中 篤史 [3年]
- 杉本 葵 [3年]
- 渡部 祥吾 [3年]
- 村上 琉聖 [3年]

### —北海道小樽未来創造高等学校—

- 伊藤 正太 [3年]
- 成田 菜々 [3年]
- 内村 滯 [3年]
- 長谷川 真央 [3年]
- 大湯 海斗 [3年]
- 本間 雄斗 [3年]
- 工藤 千朋 [3年]
- 湊 柚綺 [3年]
- 工藤 凜梨 [3年]
- 輪島 慧杜 [3年]
- 須藤 蓮 [3年]
- 和田 夢亜 [3年]
- 中川 裕也 [3年]

### 北海道苫小牧工業高等学校

- (全日制)
- 深澤 博斗 [3年]

(以下、2名グループ)

- 高際 琉来 [3年]
- 清水 翔矢 [3年]
- 田村 龍星 [3年]
- 瀬賀 天翔 [3年]
- 森谷 輯 [3年]
- 長谷川 悠斗 [3年]
- 南沢 昂太 [3年]
- 佐藤 来希 [3年]

- 田崎 駿太 [3年]
- 松宮 晴輝 [3年]
- 上野 晟 [3年]
- 三浦 舟夏 [3年]
- 高橋 光 [3年]
- 島 香奈美 [3年]
- 高須 美瞳 [3年]
- 黒澤 友海 [3年]

(定時制)

- 高橋 鉄三 [4年]
- 対馬 直樹 [3年]

### —北海道函館工業高等学校—

- 川口 輝羅 [3年]
- 宮川 加鈴 [3年]
- 川村 友稀 [3年]
- 向平 果鈴 [3年]
- 菊地 愛 [3年]
- 秋山 慎一郎 [2年]
- 木村 絢 [3年]
- 池野 芽久 [2年]
- 北嶋 未桜 [3年]
- 稲垣 歩果 [2年]
- 小林 莉子 [3年]
- 柿崎 在架 [2年]
- 谷口 蒼樹 [3年]
- 金曾 陽香里 [2年]
- 中川 実乃里 [3年]
- 今 輝之 [2年]
- 野呂 風花 [3年]
- 小島 広都 [2年]
- 平井 唯翔 [3年]
- 齊藤 萌果 [2年]
- 藤島 七海斗 [3年]
- 齋藤 夢花 [2年]
- 前田 雄樹冬 [3年]
- 齊藤 凌来 [2年]
- 安田 未咲 [3年]
- 渋谷 一姫 [2年]

- 高橋 莉菜 [2年]
- 西川 七々星 [2年]
- 中屋敷ほのか [2年]
- 西村 心愛 [2年]
- 松本 桜香 [2年]
- (他 1名) [3年]

### —北海道名寄産業高等学校—

- 安藤 将大 [3年]

### —北海道留萌高等学校—

- 赤坂 洸喜 [3年]
- 後藤 大地 [3年]
- 油谷 歩睦 [3年]
- 中原 一心 [3年]
- 宇治 流我 [3年]
- 野辺 優真 [3年]
- 川畑 隼 [3年]
- 宮津 海星 [3年]

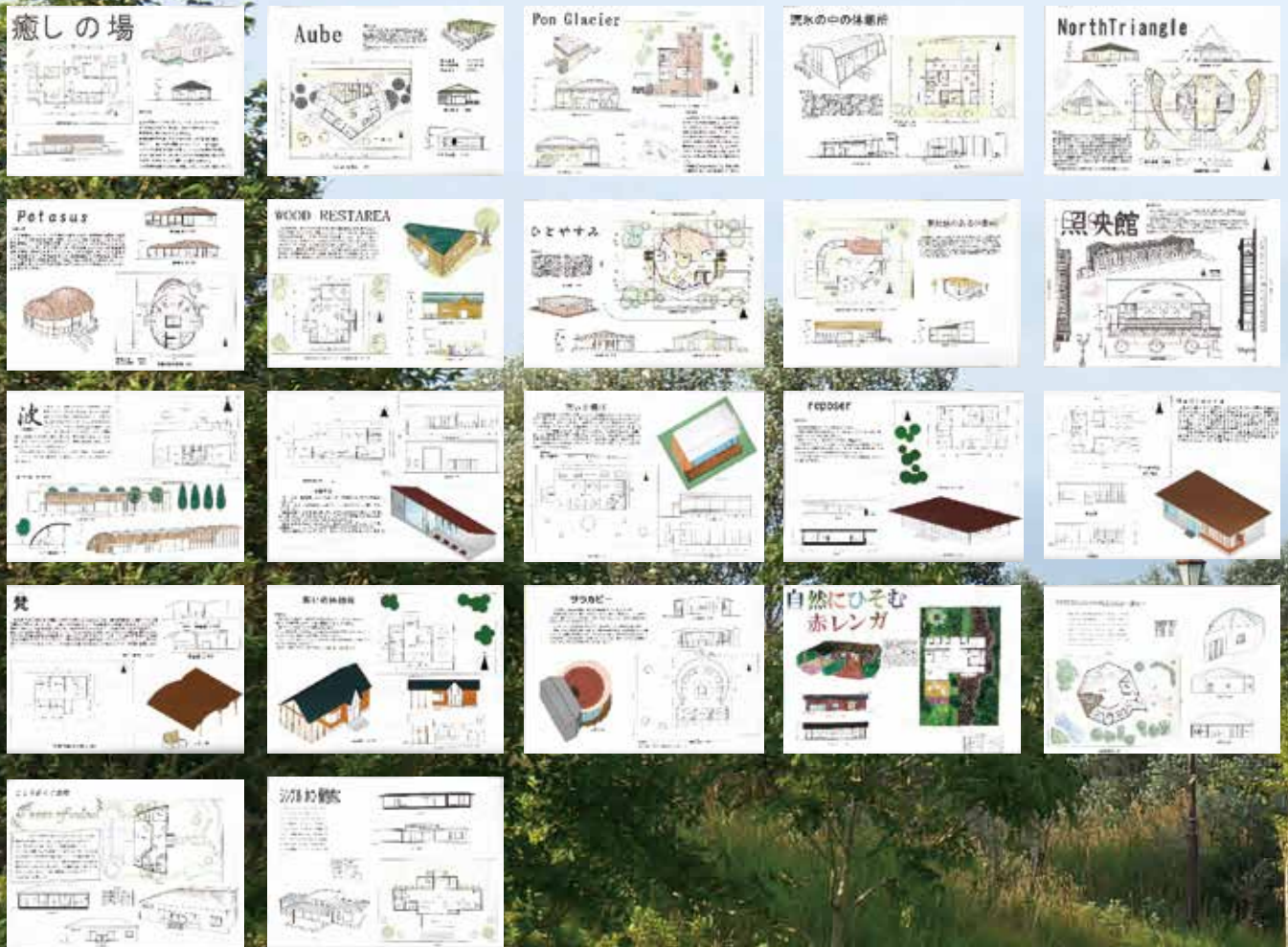
### —北海道帯広工業高等学校—

- 青木 優奈 [3年]
- 中野 叶加 [3年]
- 大瀬戸 杏 [3年]
- 武藤 美奈 [3年]



## 高校別応募作品一覧

学校名	応募作品数	参加人数
北海道札幌工業高等学校	8	8
北海道小樽未来創造高等学校	13	13
北海道苫小牧工業高等学校 (全日制・定時制)	10	19
北海道函館工業高等学校	32	32
北海道名寄産業高等学校	1	1
北海道留萌高等学校	8	8
北海道帯広工業高等学校	4	4
計	76	85



<共催>  
 北海道  
 公益社団法人日本建築家協会北海道支部  
 一般社団法人北海道建築士事務所協会  
 一般社団法人北海道建築士会

<北海道建設部建築局ホームページ>  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

令和5年2月